

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-89011

(P2001-89011A)

(43)公開日 平成13年4月3日(2001.4.3)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マーク*(参考)
B 65 H 35/07		B 65 H 35/07	D 3 F 0 6 2
B 05 C 1/02		B 05 C 1/02	4 D 0 7 5
21/00		21/00	4 F 0 4 0
B 05 D 1/28		B 05 D 1/28	4 F 0 4 2
5/06		5/06	G

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全3頁) 最終頁に統く

(21)出願番号 特願平11-267064

(71)出願人 000113034

プラス工業株式会社

埼玉県入間市大字狭山ヶ原字松原108番地

(22)出願日 平成11年9月21日(1999.9.21)

(72)発明者 高橋克明

埼玉県入間市大字狭山ヶ原字松原108番地

プラス工業株式会社内

(74)代理人 100059236

弁理士 土橋 秀夫 (外1名)

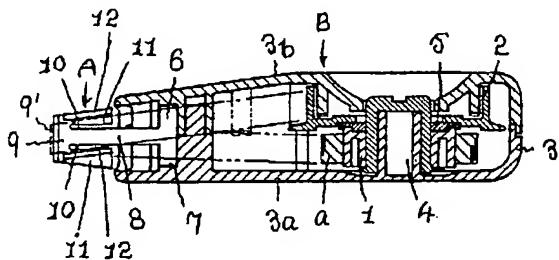
最終頁に統く

(54)【発明の名称】 塗布膜転写具における転写ヘッド

(57)【要約】

【課題】 一定負荷荷重で塗布膜の転写操作を行うことができる転写ヘッド(塗布膜転写具の)を提供する。

【解決手段】 表面に塗布膜を層設した転写テープa'を巻回した緑出しコア1と塗布膜転写済の前記転写テープa'を巻取る巻取りコア2をケース内3に収設し、前記両コア1, 2間の転写テープ部分を前記ケース3外に突出させて被転写面に押圧させながら移動させる転写ヘッドを備えた塗布膜転写具の転写ヘッドであって、基部をケースに取付けた弾性変形可能な主体部片8の先端に転写テープに対する押圧部片9を設け、該押圧部片9の後端に、前記転写テープを介して相対する案内部片12, 12を連設し、この案内部片12と前記主体部片8との間に後端側開口のスリット10を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表面に塗布膜を層設した転写テープを巻回した繰出しコアと塗布膜転写済の前記転写テープを巻取る巻取りコアをケース内に収設し、前記両コア間の転写テープ部分を前記ケース外に突出させて被転写面に押圧させながら移動させる転写ヘッドを備えた塗布膜転写具の転写ヘッドにおいて、基部をケースに取付けた弾性変形可能な主体部片の先端に転写テープに対する押圧部片を設け、該押圧部片の後端に、前記転写テープを介して相対する案内部片を連設し、この案内部片と前記主体部片との間に後端側開口のスリットを設けた、転写ヘッド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、表面に塗布膜を層設した転写テープを巻回した繰出しコアと塗布膜転写済の前記転写テープを巻取る巻取りコアをケース内に収設し、前記両コア間の転写テープ部分を前記ケース外に突出させて被転写面に押圧させながら移動させる転写ヘッドを備えた塗布膜転写具の転写ヘッドに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 例えば、特開平9-2724号公報所載のように基部をケースに取付けた主体部片の先端に押圧部片を回動自在に、又は固定的に取付けた構造のものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記従来例は、いずれにしても、主体部片を弾性変形のしない素材で構成しているため、押圧部片を押圧する（加重をかける）と、付加された荷重の大きさがそのまま転写テープに現われて、転写テープに沿う押圧部片の移動が円滑に行われなくなったり、塗布膜の転写に支障をきたす場合がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 表面に塗布膜を層設した転写テープを巻回した繰出しコアと塗布膜転写済の前記転写テープを巻取る巻取りコアをケース内に収設し、前記両コア間の転写テープ部分を前記ケース外に突出させて被転写面に押圧させながら移動させる転写ヘッドを備えた塗布膜転写具の転写ヘッドにおいて、基部をケースに取付けた弾性変形可能な主体部片の先端に転写テープに対する押圧部片を設け、該押圧部片の後端に、前記転写テープを介して相対する案内部片を連設し、この案内部片と前記主体部片との間に後端側開口のスリットを設けた構成とする。

【0005】

【実施例】 図面は本発明に係る塗布膜転写具における転写ヘッドの一実施例を示し、図1は塗布膜転写具の断面図、図2は塗布膜転写時の略示説明図、図3は塗布膜転写終了時の略示説明図、図4は転写ヘッドの正面図、図5は図4のX-X線断面図である。

【0006】 実施例の塗布膜転写具Bは、表面に塗布膜（修正剤や粘着剤あるいは蛍光剤より成る）を層設した転写テープ'aを巻回した繰出しコア1と塗布膜転写済のテープ'a'を巻取る巻取りコア2をケース3に設けた支軸4に回動可能に組付け、前記両コア1、2の軸線方向の間には繰出しコア1の回動力を巻取りコア2に伝達する動力伝達板5を回動可能に介在させ、両コア1、2巻の転写テープ'a部分を前記ケース3外に突出させる転写ヘッドAを備えて成り、ケース3を手にして前記転写ヘッドAによって前記転写テープ'a部分を被転写面Sに押圧させながら移動させると、転写テープ'aは繰出しコア1から繰出され、繰出し時における繰出しコア1の回動力が動力伝達板5を介して巻取りコア2に伝達されて巻取りコア2（繰出しコア1のテープ'aを含む外径よりテープ'a'巻取り部は大径にしてある）は回動して塗布膜転写済のテープ'a'を巻取るようにしたものである。

【0007】 前記転写ヘッドAは、ほぼ角柱状の基部片6を、前記ケース3を構成する本体枠3aと蓋枠3bによって設けた受入凹部7に係合して前記ケース3に組付け、該基部片6の長手方向の中央部に連設した主体部片8の先端を前記ケース3より導出して、前記の通り転写テープ'aを被転写面Sに押圧して塗布膜を転写せるものである。

【0008】 前記主体部片8は、断面方形状（断面方形状に限定する必要はない）の帯状片で成り、ねじれ（ひねり）或いは屈曲方向の外力（転写操作時に押圧部片9に負荷される押圧力）の負荷に対して弾性変形するような素材（実施例は合成樹脂）で構成し、ケース3より導出した先端に転写テープ'aに対する押圧部片9を設けてある。

【0009】 押圧部片9は、先端縁に丸みを施すと共に、該丸みを施した部分9'は、前記主体部片8を中心にして左右同形と成し、かつ、転写テープ'aのテープ幅より横幅（主体部片8の長手方向に直交する方向の幅）を広くし、該横幅方向の両端に後端側（前記ケース3側）開口のスリット10を介して前記主体部片8に隣接する翼部片11（省略しても良い）を突設し、翼部片11には、前記転写テープ'a又はa'を介して相対する案内部片12、12を翼部片11の表裏両面から突出するようにして連設してある。

【0010】 しかして、被転写面Sに押圧部片9を、転写テープ'aを介して押し当てて、ケース3ごと移動させると、押圧部片9は転写テープ'aを押し当てつつ移動するから、繰出しコア1から転写テープ'aが押圧部片9の移動量に応じて繰り出され、繰り出された量に対応して繰出しコア1に連動させた巻取りコア2は転写済のテープ'a'を巻き取り、塗布膜の転写操作が行われる。この転写操作時に、荷重が押圧部片9に加わることで、転写済みのテープ'a'は案内部片12、12間の主体部片8側に偏して、テープ'a又はa'は外れにくくなる。

【0011】

【発明の効果】本発明は、前記の通りの構成であるから、押圧部片に塗布膜を転写させるための必要以上の荷重（押圧力）を負荷すると、主体部片が弾性変形して屈曲し、従って、一定負荷荷重で転写操作を行うことができ、均一な塗布膜転写状態を得られる。

【0012】また、押圧部片（転写ヘッド）の、転写操作時の移動に伴って、押圧部片の転写テープを介する被転写面に対する接触角度が変化しようとしても主体部片はそれに応じて屈曲或いはねじれ変形して、一定の接触角度を維持させ、案内片間からテープがはずれることなく、塗布膜転写操作を円滑に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】塗布膜転写具の断面図。

【図2】塗布膜転写時の略示説明図。

【図3】塗布膜転写終了時の略示説明図。

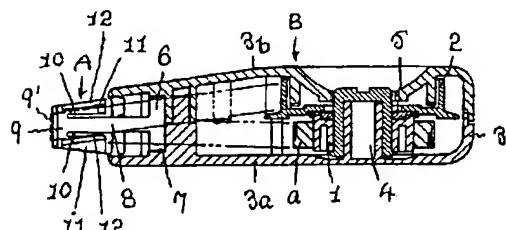
【図4】転写ヘッドの正面図。

【図5】図4のX-X線断面図。

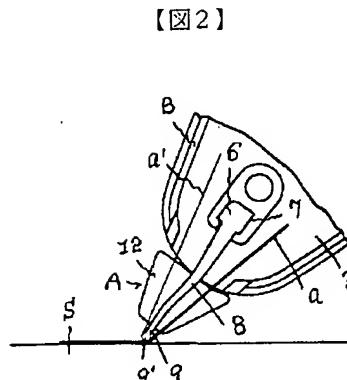
【符号の説明】

1	縁出しコア
2	巻取りコア
3	ケース
8	主体部片
9	押圧部片
10	スリット
12	案内部片

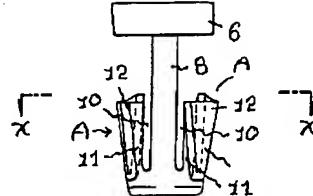
【図1】



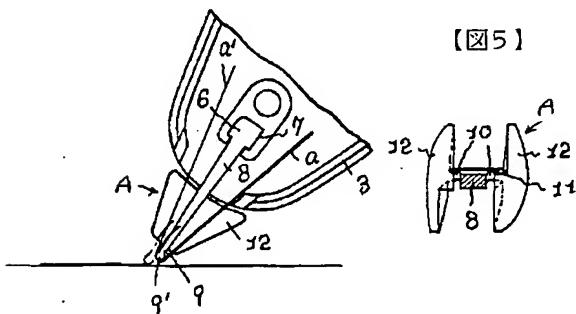
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

B 43 L 19/00

識別記号

F I

B 43 L 19/00

「コード」(参考)

H

F ターム(参考) 3F062 AA12 AB05 BA04 BE01 BE10
BF03
4D075 AC43 AC86 AC95 DA04 DB31
DC38
4F040 AA20 AB20 AC09 BA09 BA10
CA05
4F042 AA27 FA19 FA22 FA29